
BANZAI!!

めろんぱん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

B A N N Z A I ! !

【コード】

N7283P

【作者名】

めろんぱん

【あらすじ】

ぴゅーって飛んで、わーって落ちたら戦国時代な話。

旅先の案内人はじじい（前書き）

ごめんなさい。

読みにくくてごめんなさい。

初心者なんです。ゆるして。

しかもまだ高校生なんです。

テストがせまってるのです。たすてけ。

と一陣の風がふき、俺の足をすくった。

よろけて半強制的に教室の外に出ると、この状況である。

なんか木造の平屋がいっぱいあるし、歩いてる人がみんな着物みたいな物を着ている。まるでどこぞの映画村や、時代劇の中に入ってしまったみたいだ。

それにしても、人が小さい。平均身長で150cmってどこか。ちらほらと腰に刀を付けてる人が居る。

どうやら本当に「戦国時代」というふざけた時代にタイムスリップとか、これまたふざけた現象によってこんな場所に来てしまったようだ。

時代劇のセットのような場所をしばらく歩いていると、老人にはなしかけられた。

ドラ エかよと、内心で突っ込みを入れながら振り返ると、これまた小さな人がいた。

「おぬし、おかしな装いをしているなあ。どこの村のものじゃ。」

うわー！語尾に「じゃ」って付ける人初めて見たー！うさんくさいなと思いつつながら、俺は言った。

「あゝ、村とかじゃなくて池袋から来たんですけど。」

「そうか。わしは徳川の家臣のものじゃ。酒井忠次と申す。」

そうかって。のみこみの速い老人だなおい。徳川の家臣って言う

てたな。凄いんじゃないのか？

「家康の家臣って凄いや権力持ってるんじゃないですか!？」

「すっごいよ!わし。家康公の布団しいてるのわしだし!!--へへ
っ。いいっしょ?」

なんだこの、のりのりなじじい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7283p/>

BANZAI!!

2010年12月31日02時00分発行